

学院 初戦突破



岩手日日新聞社
一関市南新町 60
郵便番号 021-8686
編集局 0191(26)4204
©岩手日日新聞社



第104回
全国高校野球
選手権大会

京都国際にサヨナラ

電子号外

ご購入のお申し込みはお近くの「岩手日日」販売店、または

◆フリーダイヤル……………(0120)260945

岩手日日ホームページ・電子新聞 <https://www.iwanichi.co.jp>



延長十一回裏一関学院1死二塁、寺尾がサヨナラ打を放つ。6日、甲子園

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
京都国際	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5
一関学院	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1x	6

第104回全国高校野球選手権大会は6日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕し、本県代表の一関学院(12年ぶり7度目出場)は、初日の1回戦第3試合で京都府代表の京都国際(2年連続2度目出場)を延長十一回、6-5で下し、2002年以来20年ぶりに初戦を突破した。

一関学院は一回に先制された直後、2番千田白琥、3番小杉晟、4番後藤叶翔(いずれも3年)の3連打で同点とする。2死一、二塁から6番小松大樹主将(3年)の右中間2点適時三塁打で逆転した。二回以後藤、六回には7番千葉周永(3年)の適時打で追加点を挙げた。

先発した小野涼介(2年)が粘りの投球を見せたが、終盤に京都国際が反撃して九回同点とされた。しかし、延長十一回に小松の右前打を足掛かりに1死二塁とする。8番寺尾皇汰(2年)が中前打を放ち、サヨナラ勝ちを決めた。